

(10) 対象基準地の前	年の検討 標準価格等か	③ 価格形成要因の 変動状況	①-1対象基準地の検討 ■継続 □新規				[一般的要因]	当町の人口減少・高齢化率は県全体をやや上回る。土地取引件数はやや減少傾向にある。
			前年標準価格 32,500円／㎡					
			①-2基準地が共通地点（代表標準地等と同一地点）である場合の検討					
			□代表標準地 □標準地					
			標準地番号 -				[地域要因]	地域要因に目立った変動は認められない。
			公示価格 円／㎡					
			②変動率 年間 0.0％ 半年間 ％					
							[個別的要因]	個別的要因に変動はない。

(10) 対象基準地の前	①-1対象基準地の検討 ☒ 継続 ☐ 新規 前年標準価格 37,200円/㎡ ①-2基準地が共通地点（代表標準地等と同一地点）である場合の検討 ☐ 代表標準地 ☐ 標準地 標準地番号 - 公示価格 円/㎡	③ 価格形成要因の 変動状況	[一般的要因] 当町の人口減少・高齢化率は県全体をやや上回る。土地取引件数はやや減少傾向にある。
			[地域要因] 地域要因に目立った変動は認められない。
			[個別的要因] 個別的要因に変動はない。
	②変動率 年間 -0.3% 半年間 %		

(10) 対象基準地の前	年標準価格等 らの検討	①-1対象基準地の検討 ☒ 継続 ☐ 新規 前年標準価格 22,300 円/㎡				③ 価格形成要因の 変動状況	[一般的要因] 2025年の県内工場立地件数及び面積は共に全国1位となり、高水準で推移している。
		①-2基準地が共通地点（代表標準地等と同一地点）である場合の検討 ☐ 代表標準地 ☐ 標準地 標準地番号 - 公示価格 円/㎡					[地域要因] 東海環状道 I C. の開通箇所を増加を中心に工業に関する利便性が向上しつつある。
							[個別的要因] 個別的要因に変動はない。
		②変動率	年間 +2.2%	半年間	%		